

科目名 (科目番号)	運動器障害 理学療法評価学 (時間割参照)	教員名 渡邊 昌宏 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	火3・A317研究室	
授業概要	整形外科疾患の原因、各疾患の症状、整形外科的治療、リスク管理を理解した上で、理学療法評価(評価項目、整形外科的検査、評価手技等)について理解する。						
目的・目標	目的:代表的な整形外科疾患に対する情報収集と評価内容を理解する。 目標:①各疾患に対する症状、理学療法の流れ、リスク管理を理解できる。②各疾患に対し、理学療法評価項目を挙げることができる。③評価項目から問題点抽出に至る過程を理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	ガイダンス、整形外科疾患の診かた	到達目標:整形外科疾患のリスク管理、情報収集について理解する。 学習内容:整形外科疾患のみかたについて学習する。				
	2	股関節疾患の診かた	到達目標:変形性股関節症、大腿骨頸部骨折の情報収集、評価を理解する。 学習内容:股関節疾患の症状、評価について学習する。				
	3	膝関節疾患の診かた	到達目標:変形性膝関節症、膝軟部組織損傷の情報収集、評価を理解する。 学習内容:膝関節疾患の症状、評価について学習する。				
	4	足関節疾患の診かた	学習内容:足関節疾患の症状、評価について学習する。 到達目標:足部の骨折、アキレス腱断裂などの情報収集、評価を理解する。				
	5	肩関節疾患の診かた	到達目標:肩関節周囲炎、野球肩、上腕骨折などの情報収集、評価を理解する。 学習内容:肩関節疾患の症状、評価について学習する。				
	6	肘関節、手指疾患の診かた	到達目標:肘関節付近の骨折、テニス肘、コレス骨折、フォルクマン拘縮、神経損傷などの情報収集、評価を理解する。 学習内容:肘関節、前腕、手指疾患の症状、評価について学習する				
	7	脊柱疾患の診かた	到達目標:腰痛、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、側彎症の情報収集、評価を理解する。 学習内容:脊柱疾患の症状、評価について学習する。				
	8	脊柱疾患の診かた	到達目標:腰痛、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、側彎症の情報収集、評価を理解する。 学習内容:脊柱疾患の症状、評価について学習する。				
成績評価の方法・基準	筆記試験で評価します。						
教科書	運動器障害理学療法学Ⅰ 運動器障害理学療法学Ⅱ		石川 朗 総編集		中山書店		
参考図書	整形外科疾患の理学療法		富士 武史 監修		金原出版		
教員からのメッセージ	授業の進捗状況によっては内容を一部変更する場合があります。レポートはコメントを付して後日返却します。 科目内容について教育実績を有する医療施設(整形外科)などで勤務した教員がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。オンラインでの通信障害が発生した場合を考慮し、録画された授業を1週間公開いたします。						